



## 【しろがね特別支援学校のセンター的機能】

専門アドバイザーの仕事を紹介します



小・中学校、幼稚園等に訪問したときに、子どもが発表する場面を参観することがあります。そのときに、良い意見にもかかわらず、小さい声で発表をするため、一生懸命に聞いている私にも聞こえないという場面が多くあります。担任はクラスの他の子どもに友達の発表を聞くように指導していますが、明らかに発言する子どもの声が小さいため、担任が近寄って聞き取り、代弁することになります。それでは、言語活動の充実は十分に達成できません。

そんな中、先日、ある小学校4年生のクラスを訪問したときに、とても感動しました。それは、教師の説明に対して、「質問して良いですか」と複数の児童が一齐指導の場面で挙手をし、疑問点を述べているのです。子供たちはなかなか鋭い質問をし、主体的に学習が進められてきました。さらに、友達の意見に対しての反対意見も堂々と述べていました。

では、このクラスの子どもたちは、どのようにしてクラスの全員に聞こえるような声で自分の意見を話せるようになったのでしょうか。

実は2年前、このクラスの子どもたちが小学校2年生の時に参観したことがあります。低学年にもかかわらず、発言の声が小さく、休み時間の時の声の音量とは違います。そこで、「皆に聞こえる声で話す」というめあてを掲げた指導をしてもらいました。帰りのホームルームのときに、クラスで決めた「おはなしの1節」を皆の前で1人ずつ読むという課題を設定しました。教師は声の大きさを点数化します。子どもたちも友達の読みを聞いて評価をし、「～君のように読みたい」というモデルを持つことができました。普段、注意されることが多い児童が大きな声で読めて高得点をもたらすことがあり、子どもたちの視野を広げる良い機会にもなりました。この学習は読む文章があらかじめ決まっているため、声の大きさのみに注意を払うことができ、改善が図られました。

その後、声の大きさだけでなく、読むときの姿勢や抑揚など他の視点についても指導をすることができました。自信がついた子どもたちが2年経って、現在の姿になりました。

## 校内研修等での講演会の予定

6月11日	高校入試に関するケース会議	渋川市内中学校
6月17日	「自閉症スペクトラム児の指導について」	前橋市内小学校
6月24日	「通常学級に在籍する気になる子への 指導・支援について」	渋川市内小学校
7月22日	「特別な支援を必要とする児童がいる通常 学級での指導・支援」	前橋市内小学校
9月 3日	「行動につまづきのある子と一緒のクラス 経営」	前橋市保育士会
11月21日	60分ケース会議	渋川市内小学校
1月20日	60分ケース会議	渋川市内小学校

## 相談依頼の件数（外部支援）4～8月の結果

対象	幼稚園 保育園	小学校	中学校	高等学校	その他	計
件数	118件	80件	11件	2件	3件	214件

（その他は関係機関からの相談および研修の講師依頼）

日頃から、本校のセンター的機能の御理解と御協力をありがとうございます。  
障害の有無にかかわらず、子どもの実態把握・指導内容・指導方法について  
悩んでいることがありましたら、お気軽に御相談ください。お待ちしております。



群馬県立しrogane特別支援学校  
担 当：専門アドバイザー 尾岸 純子  
電 話：027-268-6111  
FAX：027-268-6113  
メール：shirogane-snes01@edu-g.gsn.ed.jp